

## 富山県技術士会 総会と講演会の報告

富山県技術士会では、平成20年7月5日(土)富山地鉄ホテルにおいて、平成20年度定時総会と第9回講演会を開催しました。以下に、その概要を報告します。

### 定時総会

平成20年度の定時総会は、15:00～15:30に富山地鉄ホテル11階会議室において開催しました。森田代表幹事による挨拶の後、次に示す議事に従って、前年度の報告と今年度の計画等について審議を行いました。例年の行事に加え、11月5日には「第28回地域産学官と技術士合同セミナー」を富山で開催することが承認されました。また、役員は、全員再任となりました。なお、参加者は、委任状を含めて55名でした。

#### 議 事

1. 平成19年度事業報告
2. 平成19年度決算報告
3. 平成20年度事業計画(案)
4. 平成20年度予算(案)
5. 平成20年度役員(案)



総会及び講演会の状況

### 第9回講演会

第9回講演会は、地盤工学会北陸支部に共催をして頂き、定時総会後の15:30～18:00に同じ会場で開催しました。地盤工学会北陸支部に共催をして頂いた効果もあり、参加者は50名で大変盛況でした。

講師は、富山県立大学の石塚先生と富山国際大学の浦山先生で、次に示すよう内容でした。

#### ・パソコンの熱設計と流体解析技術の応用の現状

富山県立大学教授 石塚 勝



講演中の石塚先生

最初の石塚先生の講演は、パソコンの熱設計と流体解析技術に関するお話です。石塚先生の話から、コンピュータ発展の歴史は、熱設計と熱対策の歴史でもあることを知りました。また、近年は、製品の短寿命化に伴って、設計段階でのCFD:数値熱流体解析が必須であることを教わりました。石塚先生は、解析精度を向上させるためにPIV:粒子イメージ流速計によって冷却空気流を測定しており、製品開発には冷却技術が必要不可欠であることが判りました。身近なパソコンも、裏側では熾烈な研究開発が行われていることを実感し、大変感心しました。

#### ・風水と抱護—私の環境観—

富山国際大学教授 浦山 隆一



講演中の浦山先生

2番目の浦山先生の講演は、沖縄を中心とする風水の話です。沖縄は中国との貿易が盛んで、風水の影響を強く受けており、首里城の位置や亀甲墓の形も影響を受けていることを知りました。また、沖縄には、かつて村々を守る抱護林があり、その名残が地籍図に残

っていることを教えて頂きました。また、風水の考えに基づいて設計された「香川 たからだの里 環の湯」の紹介があり、そのユニークさに一度行ってみたいとなりました。



挨拶中の中井支部長

最後は、地盤工学会北陸支部の中井支部長より、共催の挨拶と今後の両会の協力についてのお話があり、閉会となりました。

講演後には、2Fのレストランラガールにおいて、交流会が開催されました。両先生方や地盤工学会の会員も交えて、活発な意見交換が行われました。

### まとめ

富山県技術士会の活動も、5年目に入り、少しずつ参加者が増えてきたようです。今回から、地盤工学会北陸支部にも共催をして頂けることになり、役員一同大変喜んでおります。

今年は、これ以外にも次に示すような技術士会関係の行事が富山で開催される予定です。日本技術士会の会員はもちろん、一般の方々もお誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

- ・「第28回地域産学官と技術士合同セミナー」  
平成20年11月5日(水)、ボルファート富山
- ・「富山県技術士会 第10回講演会」  
平成20年11月29日(土)、富山地鉄ホテル  
(富山 竹内勝信)